

「無意識の戒め」

「こだわりを捨てる」(ひろさちや著)の中にあっただ話から。

～ある友人は子どもが3人いて、真ん中の子は知的障害を持っています。母親はそれを気遣い、真ん中の子どもに特に優しく接します。例えば上と下の子どもが遊びに出ている間、真ん中の子どもにだけおやつをあげる

とか…。でも子どもは食べようとしません。例えばケーキを上と下の子どもには半分こで、真ん中の子どもには1個をあげるとか…。やっぱり真ん中の子どもは食べません。ところが、上と下の子どもが帰ってくると食べるし、1個もらったケーキを、母親と半分こにすると食べてくれるんだそうです～。

著者は、真ん中の子どもは、傷害はあるかも知れないけれど、それよりも大切な「仏の智慧を持っている」と言います。自分一人だけ得をするようなことを、無意識のうちに戒めているのだと言います。良いお話です。

がんばる！女性消防団

年度末の角館消防署へお邪魔して、消防訓練礼式の基本動作を学んできました。若手消防員の方が見本を見せてくれましたが、最初はあまりにも一つ一つの動作が速くてびっくり！それでも丁寧に教えていただき、更に消防団員という意識が強くなりました。



お忙しい中、教えてくださった角館消防署の皆様、本当にありがとうございました。

さて、4月1日づけで新メンバーが入団しました。



西明寺在住の福岡りかさんです。小柄でキュートな方ですが、3人の子どもの持つお母さんです。以前から消防団に興味があり、今回の入団に成りました。どうぞよろしくお願います。

「消防団って何をやるんだろう？」「私でもできるかな？」と少しでも興味のある方は、私たち消防団を見かけたら、気軽に声をかけてください。いつでもお答えします。

安心して暮らせる仙北市を、私たち女性消防団と一緒に築いていきませんか。

西宮三春

かくのだてフィルムコミッション

ロケーションだより



今回は、松田翔太さん主演のTVドラマ「名探偵の掟」上桧木内ロケのエキストラ、田本熊夫さんにお話を伺いました。事件の始まりを告げるシーンは3月下旬、吹雪になるのを待ちながらの1日がかりの撮影でした。数分のシーンを作り上げる大変さを実感した田本さんは、その日からドラマや映画を見る時、「撮影にどれくらい時間がかかっただろう・・・」と想像するようになったと言います。また、「見慣れた場所もドラマの中で見ると新鮮に映る。エキストラの経験があったから、見方も変わった。良い経験ができた」とうれしそうに話して下さいました。

田本さんは、「地元上桧木内の自然、特に川魚がいて水遊びができるきれいな流れを多くの人に知って欲しい」ともおっしゃっています。早速かくのだてフィルムコミッションが田本さんに代わり、様々な活動の中で紹介していきたいと思います。

